

わたしたちが創る 笑顔がいっぱい いわてまち

広報

# いわてまち

Iwate-machi Monthly Public Relations Paper

2023

11

令和5年

No.773



## 高鳴る鼓動 若駒の躍動

主な記事

勇壮華麗な秋まつり  
産業まつりに8千人

【表紙】 秋まつりパレード

岩手町秋まつりは10月6日から8日までの3日間、沼宮内地区で行われました。7日のパレードでは、大町地区の目抜き通りに多くの来場者が訪れ、笛や太鼓の音に合わせて颯爽と演舞を披露する郷土芸能団体の姿が見られました。

# 勇壮華麗に魅了 圧巻の風流山車

岩手町秋まつり（沼宮内稲荷神社例大祭）は10月6日から8日までの3日間、沼宮内地区で行われ、五穀豊穡の感謝と無病息災を祈願し、風流山車や郷土芸能団体が太鼓や笛の音を響かせながら町内を練り歩き、多くの観客を魅了しました。  
歌舞伎や能、歴史的な出来事などをモチーフに制作された迫力ある5台の絢爛豪華な風流山車を紹介します。



風流 早川鮎之介

【舞台解説】 戦国時代の武将で、播州（現在の兵庫県南部）生まれの早川鮎之介。背に戸板を背負い、早瀬をせき止め鮎を取る怪力ぶりと、それが老父のためという親を思う心を見て武士に取り立てられた。尼子十勇士の1人で、後に捕らえられていた君主を助け出すなどの活躍をする。



風流 矢の根

【舞台解説】 歌舞伎十八番の1つ。曾我五郎は父の仇を討とうと身の丈ほどもある矢の根を研いでいた。砥石を枕にし夢の中に出てきたのは、宿敵・工藤祐経の館に捕えられている兄の十郎だった。五郎は驚き、飛び起きすぐさま兄を助けるため矢の根を手に入藤の館へ飛び出そうとする。



風流 佐々木高綱

【舞台解説】 時は平安時代末期。武将・佐々木四郎高綱が「宇治川の戦い」で梶原源太景季と流れの早い宇治川をどちらが早く渡りきるか先陣を争った。高綱は名馬「生喰」に乗りながら敵の矢をくぐり抜け、川底に張っていた大綱を重代の太刀で断ち切り進み、対岸へ一番乗りを果たした。



風流 五条大橋

【舞台解説】 乱暴者の弁慶は千本の太刀を奪うという悲願を立て、道行く人を襲っていた。あと1本というところで横笛を吹いて五条大橋を通る牛若丸と出会う。弁慶は薙刀で切りかかるも、牛若丸は軽々と欄干を飛び、返り討ちにあう。牛若丸（後の源九郎義経）と弁慶の出会いの場面。



風流 義経八艘飛び

【舞台解説】 平安時代末期の源平合戦のクライマックスとなった「壇ノ浦の合戦」が舞台。合戦の最中、平家一の猛将・能登守教経から強襲を受けた源義経が、救難を逃れるため、波間に浮かぶ船から船を飛び越え体勢を立て直し、源氏を勝利に導いたとされる名場面。



松や桜、牡丹などの縁起の良い植物が彩られる伝統の風流山車

新町組

大町組

の組

愛宕組



沼宮内駒踊り



北上川清流太鼓



一方井七ッ踊



五日市獅子踊り



川口きつね踊り



御神輿



小太鼓



沼宮内保育所（駒踊り）



沼宮内七ッ踊り



舞う、うらさ、魅了する

秋を彩る LOCAL PERFORMANCES 古里の誇り



北山形しっどかっか



大太鼓



力を込めて山車を動かす強力



第53回町民体育祭「いわてまちみんなのスポーツDAY」(町体育協会主催)は10月9日、町スポーツ文化センターで行われました。このイベントは今まで行われてきた地区対抗型から参加者を広く募集する自由参加



元気よくボールを蹴り出しキックターゲットを体験する子どもたち

型のスポーツ交流会にやり方を見直して初開催。当日は幼児から高齢者まで幅広い年代の参加者約150人が輪投げやキックターゲット、囲碁ボールなどブラスごとに7つの軽スポーツに汗を流しました。友人と参加し

## スポーツの秋に汗キラリ

た早坂(うさ)呉河(ごが)さん(沼宮内中1年)は「フリースローなどいろいろなスポーツができて楽しかった」と笑顔で話しました。またピラティスやエアロビクスなどを体験するブースも設けられ、トレーニングルームなどの施設が無料開放されました。また恒例の第54回町民ホッケー大会は10月14日と15日の2



①小学校女子の部で速攻のドリブルで攻め込む一方井チーム  
②男子39歳以下の部準決勝でS0を制して喜ぶ久保チーム

日間、町ホッケー場で行われ、小中学生や一般参加者が練習の成果を発揮し、和気あいあいとプレーを楽しみました。

【大会結果】  
小学校男子 ①一方井 ②沼宮内A  
小学校女子 ①一方井 ②川口B  
中学校男子 ①岩手U-15A ②岩手U-15B  
中学校女子 ①一方井・沼宮内 ②川口  
一般男子39歳以下 ①久保 ②水堀  
一般男子40歳以下 ①オッサンズ ②一方井  
一般男子39歳以下 ①久保 ②一方井  
一般女子 ①水堀 ②南山形

## 第53回町民体育祭 町民ホッケー大会



## 中学生の意見を反映

# 統合新設中学校のワークショップ

新校舎の模型を見学し、新校舎建設に反映してほしい意見を考える生徒

## 令和10年春開校予定の 中学校建設へ意見聞く

新しい統合中学校舎建設に際し、中学生のアイデアや普段生徒が感じていることを建設に反映しようと、中学生が意見を話し合うワークショップが8月下旬から9月下旬にかけて、町内3中学校で開かれました。

一方井中(工藤靖夫校長、生徒27人)では8月25日、新校舎の設計を担う(株)久慈設計(盛岡市)の進行で、既存校舎の良さや思い出を挙げる「空間ハンティング」と新校舎の説明が行われました。

空間ハンティングでは、生徒が既存校舎内の写真を撮影し、学校マップを作成。

現校舎の良い点として「廊下に卒業した先輩の功績が飾られている」や「郷土資料室で学校や地域の歴史を学べる」などの意見が挙げられました。また「理科室や図書室にエアコンをつけてほしい」や「洋式トイレをつけてほしい」などの改善点がグループで話し合われました。

設計業者による新校舎の説明では、2階建ての校舎に自主習用のスペースが広々と作られることなどが紹介され、興味津々に説明に耳を傾ける生徒の姿が見られました。今松真聖(まこと)さん(3年)は「普段過ごす校舎にも良いところがたくさんあることが分かったし、新校舎でも自由に学習できる場所があればうれしい」と話しました。新校舎は現在の沼宮内中のグラウンド位置に建設予定で、令和10年春に開校予定です。



学校マップで現校舎の思い出などを発表する生徒

## 特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」

### ■ホッケー 少年女子3位、少年男子4位入賞

## 高い攻守力で全国入賞

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」は10月8日から12日まで5日間、鹿児島県薩摩川内市のホッケー場などで行われ、不來方高と沼宮内高の選抜チームで構成されたホッケー少年女子が全国の舞台で第3位、沼宮内高の選手で構成された少年男子が第4位に入賞しました。

少年女子は選手一丸となった高い攻守力を武器に勝ち上がり、準々決勝で鳥取県代表と対戦し1-1の同点で迎えたS0で3-1で勝利。続く準決勝では、大分県代表に1-2で惜しくも敗れ決勝を逃しましたが、3位決定戦で京都府代表に1-1で引き分け、第3位に入賞しました。少年女子の3位以上の入賞は、平成28年・希望郷いわて国体の準優勝以来7年ぶりです。

少年男子は3位決定戦で奈良県代表(天理高校)に0-1で惜しくも敗れましたが、第4位に入賞しました。



①得意のバスホッケーを武器に全国3位に入賞した少年女子  
②全国4位に入賞し、次大会のさらなる飛躍を誓う少年男子



①産業まつりの開会を華々しく飾る城山保育園児の可愛いマーチング演奏  
②県たばこ耕作組合は町の葉タバコ生産農家や品種・生産過程をパネルで紹介  
③骨密度など日頃の健康状態をチェックする健康展は来場者から人気を博した  
④来場者に牛肉を振る舞う和牛繁殖農家のグループ「いわてまち紅娘(べこ)会」



# 第41回町産業まつり 町の産業を盛大にPR

開場直後から長い行列ができ、多くの来場者でにぎわう会場



⑤親子に好評のアイランド発祥・ハロウィンの撮影ブース  
⑥ハロウィン文化体験でお菓子詰め放題に夢中の子供たち  
⑦産業まつり開催を祝い恒例のもち・お菓子まきが行われた



Tシャツやカレンダーを販売する沼宮内高生

岩手中央幼稚園児による、よさこいソーランの演技や北上川清流太鼓の演奏、民謡歌手の中川愛子さんらによる歌謡ショー、沼宮内高吹奏楽部の演奏などが会場を盛り上げました。中居岳さん(沼宮内小6年)は「展示がいろいろあって、沼宮内高のブースでミニドローンを初めて操作したけれど楽しかった。また来てみたい」と笑顔を見せました。



多くの民謡ファンが拍手を送り会場を沸かせた中川愛子歌謡ショー

またアイランドの文化や同国発祥のハロウィンを紹介する展示や沼宮内高の文化祭「沼高祭」、無料で日頃の健康状態をチェックできる「健康展」など多様な展示も行われ、多くの来場者を楽しませました。ステージ発表では、



特価100円で販売された卵は開場約30分で完売

第41回町産業まつりは10月21日と22日の2日間、町スポーツ文化センター「森のアーリーナ」を会場に、盛大に行われました。

多様な展示でアピール  
町内外の約8千人集う

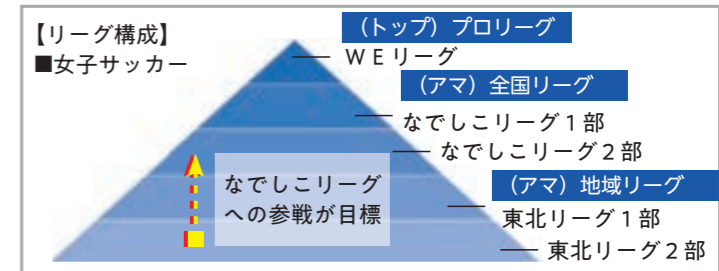


© 2023 IWATE Sports Project

試合で敵陣に攻めあがるFW尾崎茜選手



© 2023 IWATE Sports Project



女子サッカーチーム・FCゼブラレディース岩手

# 皇后杯県予選優勝 芝ピッチを整備へ

2020年に町を拠点として活動を開始した女子サッカーチーム「FCゼブラレディース岩手」。本年春から、東北リーグ2部に参戦。8月27日に行われた皇后杯予選県大会では優勝を果たすなど勢いに乗るチームを紹介します。

皇后杯予選県大会(県女子サッカー選手権大会)で栄光を掴んだFCゼブラレディース岩手の皆さん

## ■ TOPIC 1 天然芝グラウンドを整備



I GR岩手川口駅から徒歩5分、姫神山を臨む天然芝グラウンド

本拠地を置く川口地区のクラブハウス前に、練習拠点となる天然芝のグラウンド(ハーフピッチサイズ・約70m×60m)の整備に着手。地域の皆さんや関係者などと協力し、1本1本手作業で芝を定植しました。今後はクラブ選手のトレーニングやサッカースクールなどに利用されます。

## ■ TOPIC 2 優勝カップと工藤孝一



皇后杯予選県大会優勝を佐々木町長に報告する関係者



◀優勝カップには「工藤孝一杯優勝県女子サッカー選手権大会」の文字が刻まれており、関係者は大先輩が川口に帰ってきた!と喜びの声。



工藤 孝一 (1901-1971)  
岩手町川口出身のサッカー指導者。戦前戦後、母校の早稲田大学サッカー部の監督として活躍。1936年のベルリンオリンピックではサッカー日本代表コーチも務めた。

ゼブラの本拠地川口に天然芝グラウンドを整備

岩手町川口を拠点に活動する「FCゼブラレディース岩手」を運営する(一社)いわてスポーツプロジェクト(小野公司代表理事)は、ハーフピッチサイズ(約70m×60m)の天然芝グラウンドの整備を進めています。

練習場所は町総合グラウンドまたは盛岡誠桜高の運動場とクラブハウスが近くにある環境を作りたいという思いから、本年春から体に負担がかかりにくい天然芝グラウンドの整備に着手。元々工場跡地だった敷地を重機で掘り起こし平らにならした後に、9月中旬頃、地域住民などが回復力の高いティフトンと呼ばれる夏芝苗を1週間で約1万4千株定植しました。生育が順調に進めば、年内には利用開始できる見込みです。

今季加入した盛岡市出身の柿木琉維さん(28)は「移動距離が短縮されること、いつ

でも練習できる環境は強み。その強みを活かして新選手の獲得につながればうれしい」と期待をのぞかせました。

松田誠司理事(57)は「天然芝グラウンドや環境づくりにより、選手が集まる機会を作りながら地域のつながりも強くして、地域と歩むチームを育てたい」と力を込めました。

なでしこリーグが目標  
認知と実績を積み上げ

トップチーム登録人数は25人。チームには、香港や台湾代表の選手も含めた8人が今季新加入し、将来は全国リーグの「なでしこリーグ」参入を目指します。現在は東北女子リーグ2部に所属。7月15日に町総合グラウンドで行われたホーム最終戦では、約200人が観戦するなど町内外の認知度とファンを獲得しています。また8月27日の皇后杯予選県大会で優勝し、東北大会に出場。新監督や新戦力の獲得などで、チームも成長を見せる中、東北リーグ1部昇格へ向け、チーム一丸で闘志を燃やします。

# まちひと きらり

「まち・ひと きらり」では、きらりと光る町の出来事や輝く人々を紹介し、あなたの地域・職場での話題をお寄せください。

いつか  
どこかで

## My Dream

### 私の夢 僕の夢

No.409



沢口 妃愛さん 小田 都榎さん  
(沼宮内小5年)

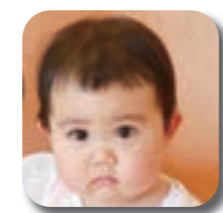
### 医師と保育士になりたい

妃愛さんの将来の夢は医師。通院する病院の先生が優しく接してくれたことにあこがれたのがきっかけで、これから医学に関する本をたくさん読んで、どんな病気も治して患者に寄りそってあげたいと目を輝かせます。都榎さんの夢は、子どもを笑顔にする保育士。保育士になったら、子どもたちと一緒に遊んだり絵を描いたりして、毎日が楽しいと知ってもらいたいと笑顔を見せます。妃愛さんの頑張っていることは習字と英語の習いごとで、都榎さんは趣味の絵を描くこと。2人とも夢に向かって努力する頑張り屋さんです。



お子さんの紹介  
なまえ(地区)  
保護者から一言

1歳児健診に来てくれたお子さんの  
かわいい笑顔を紹介しします。



山口 澁太さんの長女  
山口 明紗ちゃん(苗代沢)  
いつもありがとう。



南 憂太さんの長女  
南 愛莉ちゃん(細沢)  
笑顔で元気に大きくなろうね。



上野 健人さんの三男  
上野 楓莉くん(苗代沢)  
いっぱい遊んでいっぱい笑おう!

## I GR いわて 銀河鉄道 通学定期券購入費用の助成

町は、列車通学者を持つ家庭の経済的負担を軽減するため、  
通学定期券購入にかかった費用の一部を助成しています。



町内の I GR 銀河鉄道各駅にある  
申請書用ポストにご提出ください

【対象】 I GR いわて 銀河鉄道の通学定期利用者の  
保護者 ※なお、通学定期の有効期限が令和5年  
8月1日から11月30日までのものに限りま  
す。  
【申請方法】 I GR 各駅から使用証明を受けた「I  
GR 通学定期補助金交付申請書」に所定の事項を記

載の上、提出してください。  
【提出先】 ▽町内の I GR 銀河鉄道駅に設置のポスト  
▽役場2階 町企画商工課企画広報係(6番窓口)  
【提出期限】 12月31日(日)  
☎ 町企画商工課企画広報係 ☎ 62-2111 (内線 215)

## Topic 01

### 町の魅力あると思います! 川口中3年生がCMを制作



①発表会で自作CMを上映してプレゼンを行う中学生  
②優秀作品に「石神の丘 あります!!」が選ばれた

川口中(三田地優校長、生徒72人)の3年生22人は町の魅力を表現する15秒のCMを6本制作しました。生徒は総合的な学習の時間で、町の魅力について掘り下げ、それを基に6班に分かれて絵コンテを作成。授業で撮影技法などを学び、地域おこし協力隊などと連携し、タブレット機器を使った撮影や編集に挑戦。秋まつりや、特産物のキャベツやブルーベリー、ホッケーなど町の魅力を紹介するCMがそれぞれ制作されました。

10月11日には町三役と有識者による審査会が行われ、石神の丘美術館と道の駅を舞台にしたCM「石神の丘 あります!!」が優秀作品として選ばれました。班のリーダーを務めた田中李弥さんは「撮影時にはきれいな花と彫刻をPRできるように工夫した。制作を通して今まで気がつかなかった町の魅力を発見できた」と実感と喜びを語りました。本優秀作品は岩手朝日テレビが主催する「ふるさとCM大賞」へ応募されます。

## Topic 02

### 介護予防の体操を広める 「シルリハ3級指導者」に



三浦啓子さん(前列左から2人目)と福田幸江さん(前列左から4人目)の2人がシルリハ体操指導者に認定

町シルバリーリハビリ体操3級指導者養成講習会は9月8日から27日まで、ゆはず交流館で開かれました。この講習会は、介護予防教室などを通じて高齢者の健康づくりに取り組むボランティアを育成しようとして2回目の開催。27日には、骨や筋肉の性質を学ぶ解剖運動学、体操のレクチャーなど全5日間の講習を受講した三浦啓子さん(65)と福田幸江さん(60)の2人が県知事から同指

導者に認定されました。2人は町内を拠点に活動するシルリハいわて笑美の会(田中正典会長、会員25人)に所属し、シルバリーリハビリ体操教室などを通じて普及活動を行っています。三浦さんは「町の高齢化が進む中で、活動の輪を広げて元気な町につながるよう活動したい」、福田さんは「講習会では体のつくりを学べた。体操を通じて体を動かすことの大切さを広めたい」と抱負を話しました。

### 活 〇地域おこし協力隊 9月25日～27日 活動の集大成モノクロ写真展

本年9月末で町地域おこし協力隊を卒業した老松弘行さんの写真展「feel the Life」は9月25日から27日の3日間、大町のフォトスタジオ STUDIO PEOPLEで開かれました。着任前に移住体験をしたときから、町で撮影した写真展を開きたかったと話す老松さん。本展には動画撮影や写真講座など、自身が活動してきた中で感動を覚えた町の四季風景や祭り、郷土芸能などを捉えたモノクロ写真13点が並びました。老松さんは「3年間でさまざまな活動に挑戦できたことに感謝。本展をきっかけに活動の幅を広げ制作活動を続けたい」と力を込めました。



協力隊活動で印象に残った写真展を開いた老松弘行さん



唐箕を使ったモミの選別を体験する参加者

### 稲 〇浮島地区田んぼアート 10月9日 刈り体験と秋の味覚を堪能

浮島地区田んぼアートの稲刈り体験(実行委主催)は10月9日、4年ぶりに行われました。当日は、地区住民や町外からの参加者など約150人が参加。参加者は手鎌でザッザッと音を立てながら黄金色に色づいた稲の刈り取りを行い、千歯こきや唐箕など昔の農機具を使った脱穀体験にも挑戦。体験後は旧浮島小で収穫祭が行われ、町産の肉や野菜のBBQ、新米のおにぎりなど秋の味覚を堪能しました。米沢旺馬さん(城南小4年)は「鎌を使った稲刈りは初めてだったけど上手にできて楽しかった」と話しました。

### 初 〇沼宮内公民館まつり 10月15日 の謎解き脱出ゲームが盛況

地域住民の親睦や交流を深めようと沼宮内公民館まつり(実行委主催)は10月15日、同公民館で4年ぶりに開かれました。当日は地区内外から約250人が来場。ステンドグラスや木目込み人形など10サークルが作品を展示し、日本舞踊や音を楽しむ会などが舞台上で発表。いわてまち女性の会が不用品のチャリティーバザーを行い、男性料理サークルのピストロNが手作りのカレーを振る舞うなど、さまざまな企画で来場者を楽しませました。

また今回は同まつりの目玉として、「沼宮内伝説」を題材にした謎解き脱出ゲームを初めて企画。内容は、グループで町の地名になぞらえたクイズや謎解きに挑戦し、成功することで巻物を獲得。5本の巻物を手に入れて大蛇を退治し、村に平和をもたらすことで、脱出に成功しようとするもの。小学生や家族連れなどの行列が開始時刻前から並ぶ盛況ぶりで、参加者は15分でクリアし、景品のお菓子を手にしました。友人と訪れた乙茂内結飛さん(沼宮内小6年)は「沼宮内にまつわる謎解きが楽しかった」と喜び、笑顔を見せました。



好評を博した謎解き脱出ゲーム



特製カレーを提供したピストロNの皆さん

### 町 〇各種審議会の全体会議 10月12日 づくりや町政に意見交わす

町行政の諮問・審議機関となる5つの審議会の全体会議が10月12日、町総合開発センターで開かれました。会議の冒頭では、57人の委員を代表して、町総合計画審議会委員の中崎貴子さんに佐々木光司町長から委嘱状が交付。佐々木町長は「町の未来に向けて、町が取り組む大きな課題について、引き続き審議のご協力をお願いしたい」と挨拶し、現在進めている町づくりについて講話を行いました。全体会議終了後には各審議会ごとに初会合。出席した委員は、会の運営や町政への提言について意見を交わしました。なお、各種審議会委員は次のとおりです。



町都市計画審議会では都市計画マスタープランの概要を説明

- 【各種審議会委員】(敬称略、順不同)
- ◆総合計画審議会(15人)
    - ▼委員長 八戸保彦 ▼副委員長 藤原徳明 ▼委員 岩崎純一 久保良子 松本榮 幅清一 久保郁子 渡辺陽平 佐藤久 沢口孝志 千葉光利 田野島義人 岩崎晋 村井毅 中崎貴子
  - ◆行財政審議会(11人)
    - ▼委員長 岩館亮輔 ▼副委員長 中村司 ▼委員 高橋栄基 小野寺忠彦 北構政美 三浦一彦 岩崎幸子 柴田修一 品川淳二 水賀美洋子 小野雅代
  - ◆社会厚生審議会(11人)
    - ▼委員長 遠藤邦則 ▼副委員長 遠藤美江子 ▼委員 佐々木夏子 竹田裕子 高橋正次 中関康一 田中忠一 埜崎富江 藤原淳子 久保賢治 竹田幸子
  - ◆産業経済審議会(10人)
    - ▼委員長 千葉一幸 ▼副委員長 伊藤武志 ▼委員 福士好子 佐々木金見 久保秀彦 立花久良 瀬川正春 柳田光男 熊林利子 横沢泉
  - ◆都市計画審議会(10人)
    - ▼委員長 瀬川實 ▼副委員長 富岡治安 ▼委員 今松巖 大森次郎 高村治雄 立花ひとみ 黒沢真里子 武田茂 田中二郎 小島英亮

### 命 〇岩手とり肉の日 10月13日 の大切さを学ぶ交流給食会

生産量全国3位を誇る岩手県のブロイラーや県産の鶏肉産業について子どもたちの理解を深めてもらおうと、交流給食会が10月13日、沼宮内小(山本一行校長、児童239人)の4年生47人を対象に開かれました。交流会は10月29日の「岩手とり肉の日」にちなんで県獣医師会(佐々木一弥会長)と県チキン共同組合(十文字保雄理事長)が協力して開催。当日は食育授業と題し、同会が1羽1羽行う食鳥検査の様子や鶏肉の栄養、生産から加工までの製造工程が紹介されました。また(株)ジャパンファーム盛岡工場の担当者が、鶏肉をもも肉やむね肉、手羽先など部位ごとにさばく作業を実演。児童は声を上げ驚きながらも、真剣な表情で解体の様子を見つめ、小骨やくず肉なども無駄なく利用されていることなどを学びました。交流給食会では、参加者が県産鶏肉を使った照り焼きチキンの給食を味わいました。佐々木会長は「命と、携わる皆さんに感謝して、給食をおいしくいただいてほしい」と話し、滝川未彩さんは「農場でたくさんの鶏が育てられていることが印象に残った。鶏肉をさばくのを間近で見れてすごかった」と感想を話しました。



解体作業の実演を真剣な表情で見つめる児童



鶏肉を使った給食を味わう参加者



問い合わせは、町健康福祉課 子育て支援係 ☎ 62 - 2111 (内線566)へ

11月は児童虐待防止推進月間

あなたの電話相談から救われる児童がいます

子ども虐待防止のシンボル「オレンジリボン」

児童虐待防止推進月間

児童虐待は、社会全体で関わり解決すべき問題です。児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加傾向にあり、特に子どもの生命が奪われるなどの重大事件が後を立ちません。子ども家庭庁では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図るため、広報や啓発活動を行っています。

様々な児童虐待の種類

- ▼身体的虐待：殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせるなど
- ▼ネグレクト：家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、車の中に放置するなど
- ▼性的虐待：子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど
- ▼心理的虐待：言葉による脅し、無視、家族間の差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して

暴力をふるう(面前DVなど)

虐待や体罰、暴言を受けた体験がトラウマ(心的外傷)となつて、心身にダメージを引き起こし、その後の子どもたちの成長や発達に悪影響を及ぼします。次のポイントを心掛けながら、子どもに向き合しましょう。▽子育てに体罰や暴言を使わない▽子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない▽爆発寸前のイライラをクールダウン▽親自身がSOSを出そう▽子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援

健やかに育むポイント

- ▼「言うことを聞かない」にもいろいろあります
- ▼子どもの成長・発達によっても異なることがあります
- ▼子どもの状況に応じて、身の周りの環境を整えてみましょう
- ▼子どもの気持ちや考えに耳を傾けましょう
- ▼「言うことを聞かない」にもいろいろあります
- ▼子どもの成長・発達によっても異なることがあります
- ▼子どもの状況に応じて、身の周りの環境を整えてみましょう

関わり方を工夫しよう

相談や通告先

- ▼町健康福祉課 ☎ 62 - 2111 (内線566)
- ▼県福祉総合相談センター ☎ 019 - 629 - 9605
- ▼児童相談所虐待対応ダイヤル ☎ 189 (近くの児童相談所に繋がります)

児童虐待の防止等に関する法律では、虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、児童相談所や市町、福祉事務所へ相談・通告することとされています。通告は匿名でも構いません。また調査の結果、虐待ではなかったとしても通告者に責任はありません。虐待かも、と思っただけでも通告することが大切です。あなたの1本の電話で救われる子どもがいます。



歯の健康のために歯科検診を受けましょう！

日本歯科医師会では、8020 (ハチマルニイマル) 運動を推進しています。8020 運動とは「80 歳になっても 20 本以上自分の歯を保とう」という運動です。歯が 20 本以上あれば、ほぼ満足して食生活を送れるといわれています。そのため「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」との願いを込めて運動が始まりました。歯があることは食事をおいしく食べることだけではなく、健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)を伸ばしたり、生活の質

問 町健康福祉課健康推進係(役場 1 階⑤番窓口) ☎ 62 - 2111 (内線564)

を維持することにもつながります。また、歯や口腔内の清潔が保たれないと、細菌が繁殖し誤嚥性肺炎などを引き起こす危険性が高まります。健康な歯や口腔状態を維持していくためには、定期的な歯科検診を受けることが大切です。町は幼児(1歳3か月、2歳、2歳6か月)、妊婦、20歳~80歳までの10歳間隔の人と76歳を迎える人に無料で歯科健診を案内しています。積極的に受診し、1本でも多く健康な歯を保ちましょう。

子どもが急病のとき

こども救急相談電話・こども夜間ケアダイヤル

子どもの病気、事故の対処や、応急処置を相談できる夜間の電話窓口です。  
 ・子ども救急相談電話 午後7時~午後11時  
 ・子ども夜間ケアダイヤル 午後11時~翌朝8時  
**【電話番号(どちらの時間帯も共通、年中無休)】**  
 ☎019 - 605 - 9000 または局番なしの#8000  
 ※ダイヤル式回線電話、IP電話、PHSからは ☎ 019 - 605 - 9000

診療時間外の受診

- 軽い病気と思われる場合、休日の日中は休日当番医を利用ください。夜間は平日、休日問わず夜間急患診療所をご利用ください。  
 ▽盛岡市夜間急患診療所 受付時間：午後7時~11時 (盛岡市神明町3-29 盛岡市保健所2階 ☎ 019-654-1080) 受診できる人は、なるべく日中の診療時間内に受診しましょう。
- 症状が重い場合  
 【受診場所】 小児救急入院受入当番病院(下記予定表のとおり)  
 【対象】 症状が重く入院が必要と思われる子どもと、盛岡市夜間急患診療所や休日当番医が診療していない時間帯の急病の子どもを受け入れます。夜間は午後5時から翌朝9時までです。

日	月	火	水	木	金	土
			11/1 国立	2 中央	3 中央	4 国立
5 日赤	6 中央	7 中央	8 国立	9 中央	10 国立	11 中央
12 日赤	13 中央	14 中央	15 国立	16 日赤	17 中央	18 中央
19 国立	20 中央	21 日赤	22 国立	23 中央	24 国立	25 日赤
26 中央	27 中央	28 日赤	29 国立	30 中央	12/1 日赤	2 国立
3 中央	4 日赤	5 中央	6 国立	7 中央	8 国立	9 日赤



【受付時間】 土曜は午後1時~5時、夜間は午後5時~翌朝9時  
 【注意点】 日中の診療時間に受診できる人は、時間内に受診してください。また、重症な子どもの治療に支障をきたさないよう、まずは盛岡市夜間急患診療所を受診しましょう。日曜、祝日の日中は休日当番医を受診してください。

**当番病院の連絡先**  
 【中央】 県立中央病院 ☎ 019 - 653 - 1151  
 【日赤】 盛岡赤十字病院 ☎ 019 - 637 - 3111  
 【国立】 国立病院盛岡医療センター ☎ 019 - 647 - 2195

一人で悩まず相談ください

- 岩手町 こころの相談** 【開催日】 11月21日(火) (年6回開催) 精神科の医師に個別で、心の悩みを相談できます。  
 ▶予約窓口：町健康福祉課 ☎ 62 - 2111 (内線556) 【時間】 午後2時~4時(完全予約制) 【場所】 町保健センター
- 町傾聴ボランティア「おひさまサロン」** 【開催日】 11月13日、27日、12月11日 毎月第2、第4月曜日(祝日の場合翌日) 【時間】 午後1時~3時 【場所】 プラザあい1階  
 ※予約不要です。日頃の思いを話してみませんか?
- ▶町健康福祉課 ☎ 62 - 2111 (内線564)  
 ▶盛岡いのちの電話 ☎ 019 - 654 - 7575 (正午~午後9時、日曜日のみ午後6時まで) ▶県精神保健福祉センター ☎ 019 - 622 - 6955 (午前9時~午後6時)

▶男女共同参画センター相談室 ☎ 019 - 606 - 1762 家族、職場の悩み、交際相手や性別、性的指向(LGBT)に関する悩みなどの相談を受け付けています。

医療

休日当番医 【受付時間】 9:00~17:00

日(曜) 町内当番医 近隣当番医

11月

- 3(金) 岩手沼宮内クリニック
- 5(日) 沼宮内地域診療センター 八幡平市立病院
- 12(日) なし 八角病院、八幡平市立病院
- 19(日) 佐渡医院 八幡平市立病院
- 23(木) 岩手沼宮内クリニック
- 26(日) なし 八角病院、八幡平市立病院

12月

- 3(日) 佐藤整形外科クリニック
- 10(日) 北上脳神経外科クリニック 八幡平市立病院
- 17(日) 沼宮内地域診療センター 八幡平市立病院

※11月12日、26日は町内当番医がありませんので、近隣当番医をご利用ください。

当番医実施医療機関の電話番号

岩手沼宮内クリニック	☎61-2025
北上脳神経外科クリニック	☎61-3636
佐々木医院	☎62-2234
佐藤整形外科クリニック	☎68-7240
佐渡医院	☎62-3211
さわやかクリニック	☎62-2043
沼宮内地域診療センター	☎62-2511

近隣当番医の電話番号

八角病院(盛岡市)	☎019 - 682 - 0201
八幡平市立病院	☎76 - 3111

県立中央病院附属 沼宮内地域診療センター

診療科	診療日	受付時間
内科	月~金曜日	8:30~11:30
外科		

応援診療科(11月)

脳神経外科	14日	
循環器(内科)	6, 10, 13, 17, 20, 24, 27日	12:30~14:30
小児科	10, 24日	13:00~16:00
皮膚科	7, 14, 21, 28日	13:00~15:30
整形外科	17日	8:30~11:00

※休日当番医、応援診療科は予定を変更する場合がありますので、あらかじめ電話で確認の上、来院ください。

スタジオへお気軽にお越しください！  
 ～大町商店街にある黒い2階建ての建物です～  
 町の地域おこし協力隊が毎月、岩手町の魅力をお伝えします。



大町商店街にある写真スタジオ「スタジオ・ピープル」

こんにちは、岩手町地域おこし協力隊しごとクリエイター、カメラマンの墨谷です。  
 皆さんは、大町に「STUDIO PEOPLE」という名前の写真スタジオがあるのをご存じでしょうか。2階建ての黒い建物です。現在、私はここを拠点に活動しています。これまで撮影イベントや、写真展などを行ってきましたが、今後もこちらで活動する予定です。

Vol. 68 地域おこし協力隊の

こびる KOBIRU じかん



KOBIRUじかんの「こびる」とは、「農作業の合間の休憩、軽食」の意味。農作業の休憩時間に、気軽に読んでほしいと思いを込めたコーナーです。

今月は、墨谷が担当します。

町のSNSフォローをお願いします！



最近、小さいお子さんのいる親御さま向けに写真講座を行うことが増えてきましたが、子どもの写真が持つ力は偉大で、データフォルダに残したままにしているのではなく、ぜひ家に飾ってほしいと思っています。  
 「一眼レフカメラはあるけど使い方がわからない」「動いている子どもを上手く撮影したい」「カメラは何を買ったらいいかわからない」などお困りのことがありましたらスタジオにお気軽にお越しくださいませ。  
 写真を飾るフォトフレーム、アルバムなどのご提案、その他スタジオ撮影、ロケーション撮影のご相談も随時承っております。看板が出ていましたら、在室しております。スタジオの外から見える位置に、岩手町で撮影した写真も展示しておりますので、ご覧ください。

新着図書



旬で食べる! 野菜の12ヵ月 / しない育児 / 子どものネット・ゲーム依存問題 解決ガイド / 散歩の達人 東京駅

ジャンル	書名	著者
小説	最愛の	上田 岳弘
	オイサメサン	神津 凜子
	サドンデス	相場 英雄
	存在のすべてを	塩田 武士
	青春をクビになって	額賀 滯
エッセイ	いまこそガーシューウィン	中山 七里
	こんな感じで書いてます	群 ようこ
児童絵本	今日も、私は生きている。	曾野 綾子
	パンどろぼうとほっかほっかー	柴田 ケイコ
	ごちそうさま	accototo
児童読み物	いもほりセブン	もとした いづみ
	あふれたまち	マリアホ・イルストゥラホ
児童実用書	ストーリーマスターズ4	廣嶋 玲子
	落語少年サダキチ ごと	田中 啓文
	いきもの漢字事典	栗生 こずえ
	ミック版日本の歴史87 結城秀康	加来 耕三：監修

開館時間 午前9時～午後6時  
 町立図書館 ☎62-2877

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1/1	2	3	4	5	6

赤マスの日は休館日です。

図書館の行事

- ◆チビッコ映画会 (小学生向け)  
11月9日 (木) 午後3時～
- ◆おはなし会 (小学校就学前の親子)  
11月26日 (日) 午前11時～

まちの文芸

短歌

静かなる夜の雲間を移りゆく名月を友と  
 しばし見てをり  
 愛木タエ子

そよ風にたなびく雲の間より差しくる月  
 の光さやけし  
 伊藤 一陽

咲き残るうすくれなるの薔薇のもと秋の  
 陽を浴み庭の草引く  
 岩館 カツ

天頂の大三角をよぎりゆく白き光は夏の  
 夜の星  
 昆野 功夫

蕪島の境内めぐり海猫の姿をもとめ秋空  
 見あぐ  
 瀬川 浩美

孤独とふ利尻の友と電話にて「十五夜お月  
 さん」声そろへ歌ふ  
 高橋 糸

秋あかね見れば秋も終はりかと幼きころ  
 の歌を思ふも  
 橋本 智代

通ひ路に病葉しげく見あぐれば胡桃は早  
 も粒そろふなり  
 山口 國男

俳句

子らの手に一休団子秋祭  
 伊藤 一陽

休田を埋めて紛らす秋桜  
 遠藤 金作

霧晴れて峡の紅葉はじまりし  
 遠藤 初枝

おさらひの太鼓聞ゆる秋の宵  
 昆野 功夫

秋耕にあれやこれやの策ありて  
 志田 悦朗

根の間に若荷の花の一灯し  
 山口 國男

川柳

題詠「眩しい」

鍋倉るみこ 選

まぶしいなあ嬉し涙の母の顔  
 馬淵 草

暗闇のモグラ生活もう出れない  
 土橋はつお

来てよかった光りまぶしい御来光  
 佐藤 小草

三つ指をつかれ眩しい娘と向かう  
 山口 國男

海の子の眩しさ知った山育ち  
 自 句

### ねんきんネット

#### ■日本年金機構

日本年金機構では、パソコンやスマートフォンで年金情報を確認できる「ねんきんネット」の利用を勧めています。自身の年金記録の確認のほか、将来の年金見込み額や、各種通知書が確認できます。

詳しくは、インターネットで「ねんきんネット」で検索するか、マイナンバーカードを持っている人はマイナポータルから簡単に利用できます。

🗨️ 日本年金機構ねんきんネット専用番号 ☎0570 - 058 - 555

### 県民手帳の販売

#### ■町民課の窓口で販売

2024年版の県民手帳(1冊800円)と、能率手帳(1冊900円)を町民課戸籍住民係(1階①番窓口)で販売します。販売期間は令和6年1月19日(金)まで。

🗨️ 町企画商工課企画広報係 ☎62 - 2111 (内線217)

### 境界問題の合同相談会

#### ■県土地家屋調査士会

県土地家屋調査士会は、法務局・筆界特定室と合同で土地境界に関する相談会を開きます。

【日時】 12月2日(土)午前10時～午後4時

【場所】 アイーナ8階 813・814研修室

【相談料】 無料

🗨️ 県土地家屋調査士会 ☎019 - 622 - 1276

### 秋季火災予防運動

#### ■盛岡中央消防署岩手分署

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」を防火標語に、11月9日から15日まで全国一斉に秋季火災予防運動が行われます。これから空気が乾燥し、火災が発生しやすい時季を迎えます。火の取り扱いに十分注意しましょう。また、11月9日は「119番の日」です。火事や救急などの緊急時には、慌てずに119番通報しましょう。

🗨️ 盛岡中央消防署岩手分署 ☎62 - 6119

### 災害による火災に注意

#### ■盛岡中央消防署岩手分署

地震火災を防ぐためには、出火防止対策が重要です。また台風などの自然災害では、停電が復旧する際に発生する通電火災に注意しましょう。これらの火災予防のため、次のことに注意しましょう。

【注意すべきポイント】

▽家具などの転倒防止対策(固定)を行いましょ。▽感震ブレーカーを設置しましょう。▽住宅用火災警報機を設置しましょう。停電中は電気器具のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜きましょう。また避難する際にはブレーカーを落としましょう。▽地域の防災訓練へ参加するなどして、災害発生時の対応について考えてみましょう。

🗨️ 盛岡中央消防署岩手分署 ☎62 - 6119

### 夜間の新幹線走行試験

#### ■JR東日本

JR東日本では、新幹線試験電車を使用した走行試験を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

#### ■仙台～新青森間(複数回)

- ・令和6年1月30日夜(1月30日午後11時頃～翌31日午前5時頃)
- ・2月4日夜(2月4日午後11時頃～翌5日午前5時頃)
- ・2月25日夜(2月25日午後11時頃～翌26日午前5時頃)
- ・3月3日夜(3月3日午後11時頃～翌4日午前5時頃)
- ・3月10日夜(3月10日午後11時頃～翌11日午前5時頃)

※都合により日程を変更することがあります。

🗨️ 東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社 経営戦略ユニット ☎019 - 625 - 4079

### 社会人向け学生募集

#### ■盛岡農業高校

盛岡農業高校では、高校卒業後の農業の後継者や新規就農者、農業を志す人を支援する社会人教育の学科(特別専攻科)の学生を募集しています。週に2日登校して学習します。募集定員は20人で、修業年限は2年間です。

【願書受付】 11月13日(月)～11月27日(月)

【試験日】 12月6日(水)

【試験内容】 面接と作文

🗨️ 盛岡農業高校 特別専攻科 ☎019 - 688 - 4211

### インボイス制度説明会

#### ■登録要否相談会も開催

盛岡税務署では、個人事業主または法人を対象としたインボイス制度説明会を行います。

#### ■個人事業主向け

【日時】 ①11月22日(水) ②12月20日(水) 両日とも午前10時～正午

【会場】 盛岡税務署3階会議室

#### ■法人向け

【日時】 ①11月22日(水) ②12月20日(水) 両日とも午後1時30分～3時30分

【会場】 盛岡税務署3階会議室

【申込方法】 開催日の5日前までに電話で申し込み

【定員】 時間帯ごとに20人

【備考】 説明会の終了後、希望者を対象に「登録要否相談会」を引き続き開催します。

🗨️ (個人事業主対象)盛岡税務署 個人課税第1部門 ☎019 - 622 - 6217 ▽(法人対象)盛岡税務署 法人課税第1部門 ☎019 - 622 - 6237

### 若者のための就職相談

#### ■希望者へ適職診断も実施

もりおか若者サポートステーションでは、若者のための就職相談会を行います。

【日時】 11月17日(金) ①午後1時30分～②午後2時30分～③午後3時30分～(1組50分程度)

【会場】 ハローワーク沼宮内2階会議室

【予約】 開催日の2日前までに電話またはメールで申し込み

【備考】 希望者にはパソコンを使用した適職診断も行います。

🗨️ もりおか若者サポートステーション ☎019 - 625 - 8460 ✉️ mail@morisapo.jp

### 脳損傷リハビリ講習会

#### ■基調講演とシンポジウム

いわて高次脳機能障害友の会では、いわて脳損傷リハビリテーション講習会を開きます。

【日時】 11月25日(土) 午後2時～4時30分 参加費無料

【会場】 県自治会館 第2会議室(盛岡市山王町4-1)

【内容】 基調講演とシンポジウム  
🗨️ NPO法人いわて高次脳機能障害友の会イーハトーヴ ☎019 - 652 - 1137

### 県障がい者文化芸術祭

#### ■絵画や書道など5部門

県内在住の心身に障害のある方々の文化芸術活動や優れた芸術作品を広く紹介するために、文化芸術祭が開かれます。

【展示期間】 11月23日(木・祝)～12月18日(月)

【会場】 ふれあいランド岩手 エントランス～ふれあいホール前

【内容】 芸術作品の募集・展示(絵画・書道・工芸・写真・文芸)

🗨️ 県障がい芸術活動支援センターかだあと ☎019 - 656 - 7081 FAX 019 - 681 - 2514

### 検察審査員制度

#### ■検察審査会からのお知らせ

「検察審査会」は、検察官が罪を犯したと思われる人を刑事裁判にかけなかった場合に、検察官の処分の良し悪しを審査する国の機関です。検察審査会は、18歳以上の有権者の中から「くじ」で選ばれます。令和6年の検察審査会候補者名簿に搭載された人は、本年11月中旬に通知書が届きます。

🗨️ 盛岡検察審査会事務局 ☎019 - 622 - 3391

### 高齢者・障がい者110番

#### ■相談に無料で応じます

岩手弁護士会高齢者障害者支援センターでは、高齢者や障がい者が日頃抱える問題の解決につながることを目的に、相談会「高齢者・障がい者なんでも110番」を開きます。

【日時】 11月28日(火) 午後1時～5時

【会場】 (面接相談) 県福祉総合センター3階(盛岡市本町通3丁目)(電話相談) ☎019 - 625 - 0110  
【内容】 高齢者や障がい者、その家族などからの法律・介護・福祉サービス・年金など幅広い分野について、電話と面接で相談に応じます。相談料は無料で秘密厳守。

🗨️ 東海林法律事務所 ☎019 - 623 - 9511

### 配偶者の暴力に悩む人へ

#### ■女性に対する暴力をなくす運動

毎年11月12日から11月25日(11月25日は「女性に対する暴力撤廃国際日」)は女性に対する暴力をなくす運動の実施期間です。暴力は、性別や加害者と被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありませんが、特に配偶者などからの暴力、性犯罪、売買春、人身取引、セクシャル・ハラスメント、ストーカー行為など女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

#### ■DV相談+ (DV相談プラス)

配偶者やパートナーから受けている様々な暴力(DV)について、専門相談員と一緒に考えます。

☎0120 - 279 - 889 (24時間受付)

#### ■DV相談ナビ

配偶者などからの暴力に悩んでいることについて、最寄りの相談機関に自動転送でつながります。

☎#8008 (通話料がかかります)

🗨️ 町健康福祉課福祉支援係 ☎62 - 2111 (内線512)

9月受け付け分

●お婿さん、お嫁さん● 2組 (3組)

日	お名前	世帯主	行政区
1	高畑 隼 南黒沢 舞	本人 高畑隼	下野口町 下野口町
11	西村 孝幸 千葉 彩華	千葉明美 千葉明美	上五日市 上五日市

●生まれたお子さん● 1人 (1人)

▼9月

日	お名前	保護者	行政区
11	橋本 凧紗	和明	駅 通

●亡くなられた人● 17人 (23人)

▼8月

日	お名前 (年齢)	世帯主	行政区
31	瀬川 孝 (80)	節 子	境 田

▼9月

1	鈴木 武志 (92)	本 人	栄小路
2	川又 洋子 (70)	信 夫	前ヶ沢
4	武田 吉男 (89)	本 人	葉木田
5	今松 信夫 (90)	肇	今 松
7	千葉 政信 (75)	大 介	上愛宕下
7	澤口 ノリ子 (86)	美智子	江 刈 内
10	鈴木 リサ (90)	幸 夫	新愛宕下
13	武田 礼子 (72)	久	葉木田
15	高橋 リキ (101)	本 人	柳 橋
16	宮崎 慶三 (95)	本 人	上苗代沢
17	稲場 幸一 (79)	ユキ子	江 刈 内
18	澤村 ハシメ (89)	本 人	水 堀
19	千葉 伊佐雄 (78)	ユ ミ	葉木田
20	白木 俊彦 (88)	本 人	下苗代沢2
22	小澤 初雄 (78)	本 人	葉 の 木
25	柴田 ナルミ (79)	本 人	下大町

組数、人数の ( ) 内は実数です。  
町内に住所がある人で、広報に掲載を希望する人のみ掲載しています。掲載希望の有無は、届け出の際に役場町民課にお話してください。

人口の動き

令和5年9月30日現在

人 口	11,942人	前月比 (-31)
世帯数	5,389世帯	(-10)
男	5,870人	(-20)
女	6,072人	(-11)

▼出生1人 ▼死亡23人 ▼外国人住民168人

▼転入20人 ▼転出28人

# 11月 町民カレンダー

日(曜)	時 間	行 事	場 所
	9:00～	開館 30 周年記念・三沢厚彦展 ANIMALS IN ISHIGAMI・no・OKA (～11/26)	石神の丘美術館
1 (水)	9:30～	離乳食教室	町保健センター
2 (木)	9:30～	妊婦教室	町保健センター
4 (土)	9:00～	町芸術祭 展示部門 (～23日)	プラザあい
5 (日)	9:00～	町総合防災訓練	川口小ほか
	10:00～	そらくもカフェ (北山形・岩瀬張地区住民対象)	東部デイサービスセンター
8 (水)	13:00～	1歳6カ月児健診 (令和4年3月14日～5月8日生)	町保健センター
	13:00～	3歳児健診 (令和2年4月11日～5月8日生)	町保健センター
12 (日)	11:00～	町芸術祭 舞台部門 (10:30 開場)	森のアリーナ
	10:00～	盛岡年金事務所出張相談 (要予約:盛岡年金事務所 ☎019-623-6211)	ゆはず交流館
15 (水)	10:00～	福祉のしごと出張相談会 (相談無料)	ハローワーク沼宮内
16 (木)	8:30～	まんまと湯っこの会	町老人福祉センター
17 (金)	13:30～	若者のための就職相談会 (相談無料)	ハローワーク沼宮内
18 (土)	10:00～	ぬくみの市 ～クラフト市&ワークショップ～	川口公民館別館
19 (日)	10:00～	町郷土芸能発表会 (9:30 開場)	森のアリーナ
20 (月)	9:00～	人権・行政相談	沼宮内公民館
21 (火)	10:00～	子育てサロンすくすく	一方井公民館
	13:00～	6カ月児健康診査 (令和5年5月生まれ) 9カ月児健康診査 (令和5年2月生まれ) 1歳児健康診査 (令和4年11月生まれ)	森のアリーナ
22 (水)	13:00～		
23 (木)	9:50～	沼宮内小創立 150 周年記念式典	沼宮内小
25 (土)	11:00～	食育食堂 どんぐり山 (小学生以下無料) (要予約:代表くまがい ☎090-4734-2832)	五日市 生活改善センター
26 (日)	11:30～	いわてまち女性の会「舞台発表会」	プラザあい
28 (火)	9:30～	離乳食教室 (初期コース)	町保健センター

◆ 町税などの納付期限 ◆

国民健康保険税 (5期)	11月30日 (木)
後期高齢者医療保険料 (5期)	口座振替日:11月27日 (月)

日(曜)	時 間	行 事	場 所
1 (金)	9:00～	5歳児相談 (平成30年9月21日～11月30日)	町総合開発センター
4 (月)	9:00～	人権相談	沼宮内公民館
7 (木)	9:00～	妊婦教室	町保健センター
10 (日)	14:00～	音を楽しむ会 定期演奏会	プラザあい
13 (水)	10:00～	そらくもカフェ (北山形・岩瀬張地区住民対象)	東部デイサービスセンター

※広報掲載後に予定が変更になる場合もありますが、そのときは、町ホームページや回覧などでお知らせします。なお、町内の団体などもこの欄をご利用ください。

## 自賠責期限切れに注意

### ■自賠責保険

交通事故による死者数は年々減少傾向にあるものの、令和4年の事故発生件数は約30万件、死傷者数は約36万人と、国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなりえる極めて深刻な状況となっています。交通事故は車社会の負の部分であり、被害者にも加害者にとっても悲惨な結果をもたらすものです。

自賠責保険・共済は全ての車・バイク1台ごとに加入が義務づけられており、加害者の賠償責任を担保することで、被害者の基本的な賠償を保証する制度であり、被害者の救済を目的としています。

また自賠責保険・共済なしで自動車などを車を運行することは、法令違反のため、注意しましょう。

☎ 国土交通省東北運輸局岩手運輸支局輸送・監査部門 ☎019-638-2154

## 相続に関する講演会

### ■相続登記の申請義務化へ

令和6年4月1日から施行される相続登記の申請義務化に向けて、土地・建物の相続・遺言に関する疑問に司法書士・土地家屋調査士がお答えします。相談は要予約で、会場の定員になり次第締め切ります。

【日時】 11月28日(火)午後1時30分から午後4時まで

【会場】 盛岡地方方法務局

【その他】 相続・自筆証書遺言書保管制度の講演も行います。

☎ 盛岡地方方法務局 ☎019-624-9852

## シルバー110番

### ■高齢者向けの法律相談

(公財)いきいき支援財団は、高齢者向けに法律などの「なんでも相談窓口」を設置しています。

【相談時間】 月曜、水曜、金曜(祝日を除く) 午前9時～午後5時

【相談電話】 ☎019-625-0110

☎ (公財)いきいき岩手支援財団 ☎019-625-0110

## 町商品券の期限に注意

### ■本年11月30日まで

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける生活への支援と、地元商店の消費喚起を目的に本年8月に町内各世帯へ給付した「岩手町共通商品券給付事業」の町共通商品券は、使用期限が本年11月30日までです。



まだお手元に「岩手町共通商品券給付事業期限付」と書かれた商品券をお持ちの方は、忘れずにご使用ください。

☎ 町企画商工課商工観光係 ☎62-2111 (内線213)

## 防災無線を電話確認

### ■直近の放送が聞けます

町防災行政無線で放送した内容は、直近の内容を自動放送で確認できます。(火災や緊急時を除く)

【自動音声電話】 ☎62-5367

## 地域のイイね! / VOL.2

### ■信義丘自治振興会

## 農風景を1冊のカレンダーに

信義丘自治振興会(田中忠一会長)は、岩手町の農風景写真を収めたカレンダー「ときめきの瞬間-彩りの里 岩手町-2024CALENDAR」のPR活動を行っています。カレンダーは宮城県仙台市在住の写真家・植村功さんが新たに300部制作したもので、本年2月の同地区文化祭で植村さんと行った写真展やワークショップのやりとりがきっかけで、制作が実現。

鴨沢・一方井地区を中心に、植村さんが6年前から撮影した農地や丘などが、季節ごとに表情を変える鮮やかな風景写真が並びます。田中会長(66)は「町外に住む人は、カレンダーを通じて農風景の懐かしさに親んでもらいたい。町に住む人にも地域の魅力に改めて気づく機会になればうれしい」と力を込めました。

カレンダーは希望者に一方井公民館で販売。(1部1,000円)



「表紙に使われている葉タバコが並ぶ写真が気に入っています」とカレンダーを掲げる田中忠一会長



Vol.26

# 沼高WITH

タイトル画：和田脩吾さん(3年) (作者から)岩手に生息するニホンカモシカがモチーフ。町内の認知度を上げたい。



小学生と一緒にオリジナルのアクセサリーを作る3年生

高校の取り組みが地域の振興に

## 沼高祭が産業まつりとコラボ

沼宮内高の楽しい  
情報発信は⇒⇒⇒  
note



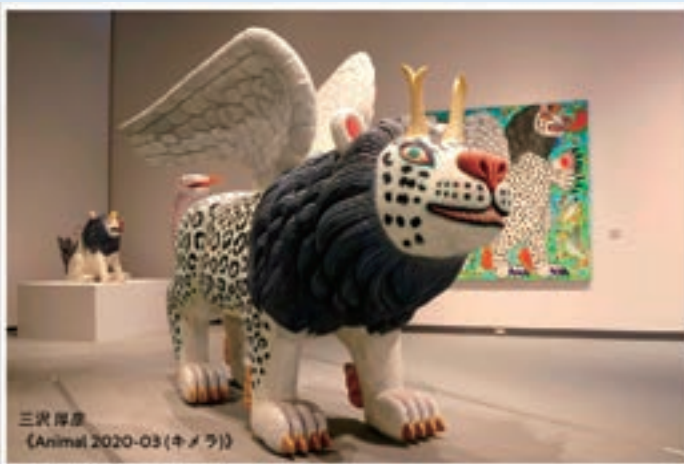
文化祭「沼高祭～きずな～」は10月21日、22日の2日間、森のアリーナと町柔剣道場で町の産業まつりと昨年に引き続き、同時開催されました。イベントでは、茶道部によるお茶会や生徒会のラジオ放送、吹奏楽部による音を楽しむ会との合同演奏など、生徒の学生生活を紹介するブースや発表が多数行われ、多くの家族連れなどが訪れました。

2年生は、これまで総合的な探究の授業で進めてきた「企業活動体験プロジェクト」の4グループの発表の場として、ブルーベリー染めで作ったハンカチなどの販売やドローンの操縦体験、金魚すくいなどの体験コーナーが設けられました。生地に豆腐や町産ブルーベリーを混ぜ、モチモチとした食感の自作ドーナツのお振る舞いをしたグループの井戸徠夢さんは「ドーナツを手渡したときのお客さんの笑顔が見られたのがうれしかった。学んだコミュニケー



生徒自作のドーナツのお振る舞いには長い列が並んだシヨンの大切さを今後の学校生活に活かしたい」と充実の表情で話しました。また3年生はアクセサリ作りや射的などで、来場者を楽しませました。

沼高祭では生徒自身が楽しみながら文化祭を成功させようとする中で、生徒同士の協力、臨機応変な対応や地域の皆さんとのふれ合いなど、高校の取り組みが地域に還元される光景が見られました。



### あれ？背中にも生き物が！

三沢厚彦 ANIMALS in ISHIGAMI no OKA

「こわい」「かわいい」「ふしぎ」……様々な反応や感想がよせられている、彫刻家・三沢厚彦さんの作品。大作・カメラの背中には、コロナ禍に制作したからこその生き物があるんですよ。後ろ側からそっとのぞいてみてくださいね。

- \*会 期 開催中～11月26日(日)まで
- \*開館時間 9：00～17：00 (最終入場16：30)
- \*休 館 日 月曜日(月曜日が祝日の場合登日)

石神の丘美術館 美術館へのお問い合わせ  
TEL 62-1453

### 編集後記

10月は秋まつりに圧倒されました。私はほぼカメラを持って沿道で見るばかりでしたが、妻と友人がはんでんを着て愛宕組の山車に参加。山車飾りも見学しましたが、皆さんが大小さまざまな飾りを作っているのを見て「こんなに準備しているんだ」と驚きました。公民館の近くでは、小学生が夜にかけて太鼓の練習をしていて、私も小学5年の頃に山車を引いたり、太鼓を叩いたなど少ししみじみとしました。22年前の当時は愛宕組に参加したので不思議なご縁を感じます。また当時と変わらず皆さんが笑顔でお祭りに参加していて、幸せな気分。また山車や踊りでも、同級生や後輩、普段お世話になっている職場や町の皆さんの姿も多く見かけました。取材中、編集後記の読者にたまに声をかけられることもあり気恥ずかしい気持ちもありますが、また来月。(中村)

広報いわてまちは、『記者ハンドブック新聞用字用語集第14版』に基づいて記事を作成しています。原則、よろこびかなしみコーナー以外は常用漢字を使用しています。氏名などを掲載する場合は、常用漢字での掲載となります。ご理解をよろしくお願いたします。